

文教委員会報告資料

令和7年10月10日

報告事項件名	頁
(教育指導部)	
(1) 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の調査結果について……………	2
(2) 令和8年度SSR（スモール・ステップ・ルーム）設置予定校について……	6
(3) 「令和7年度第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」報告について …	9
(4) 就学相談における発達検査の外部委託について……………	18
(5) 【追加】入谷中学校への特別支援学級（知的固定）新設検討について…………	20
(学校運営部)	
(6) 【追加】小中学校の校庭における金属探知機を用いた安全点検実施について …	22
(7) 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて～次世代へつなぐ 適正規模・適正配置のガイドライン～の策定について……………	23
(子ども家庭部)	
なし	

(教 育 委 員 会)

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和7年10月10日

件 名	令和7年度「全国学力・学習状況調査」の調査結果について															
所管部課名	教育指導部学力定着推進課															
内 容	令和7年4月に実施した、令和7年度「全国学力・学習状況調査」の調査結果について、文部科学省より結果データの提供があったため、以下のとおり報告する。															
	1 実施方式及び実施日															
	(1) 冊子方式：令和7年4月17日（木） 【小学校】国語、算数、理科 【中学校】国語、数学															
	(2) CBT方式（コンピュータ使用型調査方式） 以下のうち、あらかじめ指定された日に実施 【小学校】児童質問調査 令和7年4月18日～30日 【中学校】理科、生徒質問調査 同月14日～17日															
	2 対象学年・科目・受検人数 (単位：人)															
	<table><tr><th>科目 対象学年</th><th>国語</th><th>算数/数学</th><th>理科</th><th>児童生徒 質問調査</th></tr><tr><td>小学6年生</td><td>4,628</td><td>4,629</td><td>4,629</td><td>4,527</td></tr><tr><td>中学3年生</td><td>3,901</td><td>3,900</td><td>3,916</td><td>3,933</td></tr></table>	科目 対象学年	国語	算数/数学	理科	児童生徒 質問調査	小学6年生	4,628	4,629	4,629	4,527	中学3年生	3,901	3,900	3,916	3,933
	科目 対象学年	国語	算数/数学	理科	児童生徒 質問調査											
	小学6年生	4,628	4,629	4,629	4,527											
	中学3年生	3,901	3,900	3,916	3,933											
	※ 理科は 3年に1度 の実施。前回調査は 3年前 のR4年度。 ※ 教科ごとに受検が可能のため、受検人数が異なる。															
3 調査結果の概要（詳細は、P3～5参照）																
数値について																
① H29年度以後、国は 自治体の平均正答率（※1）を整数値で公表している。 ※1 児童・生徒の平均正答数の割合を%で示した数値 【(平均正答数／出題数) × 100】																
② 以降の表の 区平均正答率は、全受検児童・生徒の平均正答数をもとに区独自に小数第1位まで算出したもの。																
③ 中学校理科は、IRT（※2）に基づき算出したスコアにより結果が公表されている。 ※2 IRT（項目反応理論：Item Response Theory）とは、児童生徒の正答・誤答が問題の特性（難易度・測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、学力スコアを測定する統計理論。異なる問題からなるテストの結果や、異なる集団で得られたテストの結果を互いに比較することができる。																

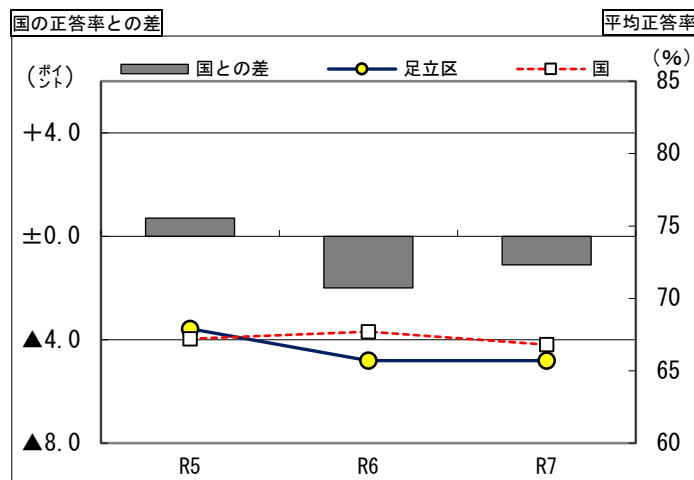
(1) 小学校

ア 国語

上段： 平均正答率 【単位：％】

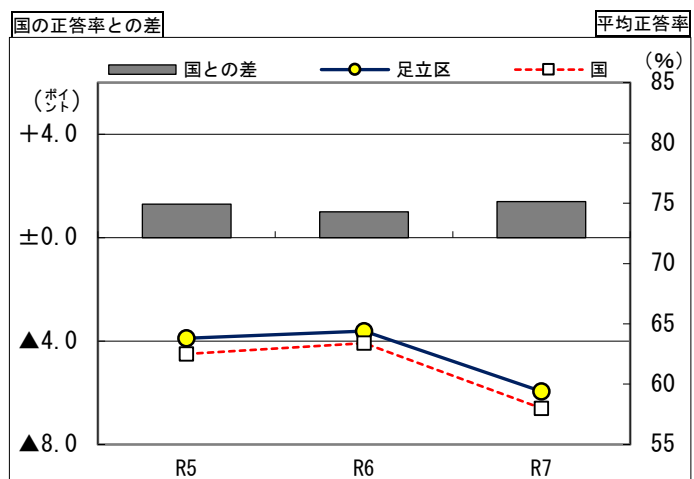
下段：(平均正答数) 【単位：問】

	区	国	国との差	
R5	67.9 (9.5)	67.2 (9.4)	+0.7 (+0.1)	出題数 14 問
R6	65.7 (9.2)	67.7 (9.5)	▲2.0 (▲0.3)	出題数 14 問
R7	65.7 (9.2)	66.8 (9.4)	▲1.1 (▲0.2)	出題数 14 問



イ 算数

	区	国	国との差	
R5	63.8 (10.2)	62.5 (10.0)	+1.3 (+0.2)	出題数 16 問
R6	64.4 (10.3)	63.4 (10.1)	+1.0 (+0.2)	出題数 16 問
R7	59.4 (9.5)	58.0 (9.3)	+1.4 (+0.2)	出題数 16 問



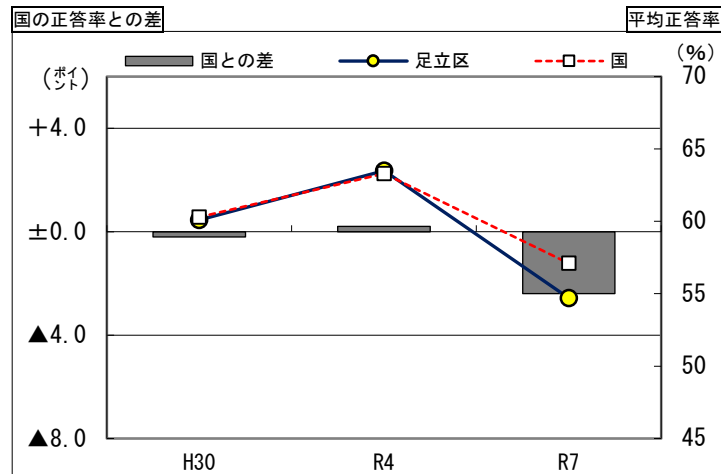
ウ 理科

	区	国	国との差
H30	60.1 (9.6)	60.3 (9.6)	▲0.2 (±0.0)
R4	63.5 (10.8)	63.3 (10.8)	+0.2 (±0.0)
R7	54.7 (9.3)	57.1 (9.7)	▲2.4 (▲0.4)

出題数 16 問

出題数 17 問

出題数 17 問



(2) 中学校

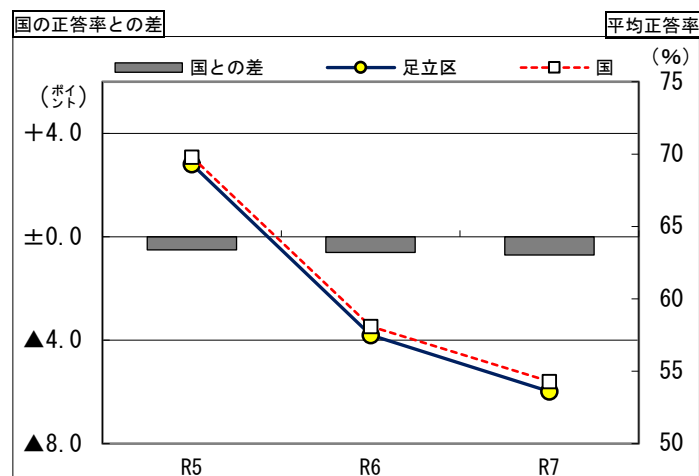
ア 国語

	区	国	国との差
R5	69.3 (10.4)	69.8 (10.5)	▲0.5 (▲0.1)
R6	57.5 (8.6)	58.1 (8.7)	▲0.6 (▲0.1)
R7	53.6 (7.5)	54.3 (7.6)	▲0.7 (▲0.1)

出題数 15 問

出題数 15 問

出題数 14 問



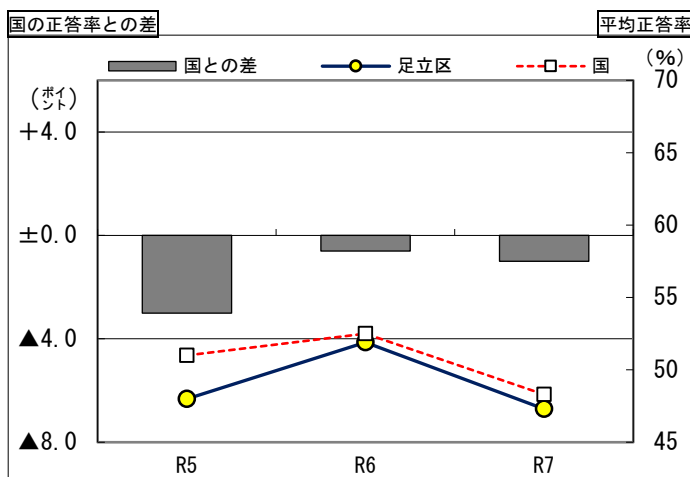
イ 数学

	区	国	国との差
R5	48.0 (7.2)	51.0 (7.6)	▲3.0 (▲0.4)
R6	51.9 (8.3)	52.5 (8.4)	▲0.6 (▲0.1)
R7	47.3 (7.1)	48.3 (7.2)	▲1.0 (▲0.1)

出題数 15 問

出題数 16 問

出題数 15 問



ウ 理科（C B T方式）

平均 IRT スコア：基準を 500 とした得点で表している。

IRT スコア	区	国
R7	486	503

4 今後の方針

区全体の傾向・解説とともに各学校の領域別・観点別の詳細結果を区ホームページに掲載する（令和8年2月予定）。

文教委員会報告資料

令和7年10月10日

件名	令和8年度SSR（スモール・ステップ・ルーム）設置予定校について																		
所管部課名	教育指導部教育指導課																		
内 容	1 SSRの現状と今後の展開について																		
	(1) SSRの現状																		
	当区では「未然防止」という新たな視点から不登校の増加に歯止をかけるため、令和9年度までに中学校全校でのSSR整備を目指して取り組んできた。令和7年度までに10校にSSRを整備し、9月当初時点で89人の生徒が利用している。																		
	(2) 今後の展開について																		
	令和8年度は新たに15校に設置することとし、9月補正予算で債務負担行為を設定した。さらに令和9年度に残る10校に開設し、中学校35校全校への設置を完了させたい。																		
	SSR設置状況																		
	<table><tr><th>年度</th><th>新設校数</th><th>設置校累計</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1校</td><td>1校</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>4校</td><td>5校</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>5校</td><td>10校</td></tr><tr><td>令和8年度（予定）</td><td>15校</td><td>25校</td></tr><tr><td>令和9年度（予定）</td><td>10校</td><td>35校（全中学校）</td></tr></table>	年度	新設校数	設置校累計	令和5年度	1校	1校	令和6年度	4校	5校	令和7年度	5校	10校	令和8年度（予定）	15校	25校	令和9年度（予定）	10校	35校（全中学校）
	年度	新設校数	設置校累計																
	令和5年度	1校	1校																
	令和6年度	4校	5校																
令和7年度	5校	10校																	
令和8年度（予定）	15校	25校																	
令和9年度（予定）	10校	35校（全中学校）																	
2 予算と契約方式について																			
(1) 債務負担行為設定（9月補正予算計上済）																			
@865千円*15校=12,975千円																			
(2) 契約方式																			
令和6年度は随意契約、7年度はプロポーザル方式で受託業者を決定した。8年度開設分からは、これまでの知見を活かし、一般競争入札で業者を選定する。																			
3 令和8年度SSR設置予定校について																			
(1) 設置校選定の主な視点																			
ア SSRに転用可能な部屋の有無																			
イ エアコンの有無																			
ウ 区内におけるSSR設置校の、配置のバランス																			

(2) 令和8年度の新設予定校 (15校)

学校名	令和 6 年度 不登校生徒数	学校名	令和 6 年度 不登校生徒数
①第七	3 2 人	⑨花畑	2 6 人
②第九	3 5 人	⑩江北桜	3 6 人
③第十	2 7 人	⑪伊興中	5 2 人
④第十一	4 1 人	⑫花畑北	1 0 人
⑤第十三	4 6 人	⑬谷中	3 8 人
⑥竹の塚	2 2 人	⑭花保	1 5 人
⑦東綾瀬	3 4 人	⑮栗島	1 9 人
⑧青井	1 0 人		

(3) 令和7年度までのSSR設置校と、令和8年度の新設予定校



令和7年度までの設置校

① 加賀中 ② 鹿浜菜の花中 ③ 新田中 ④ 西新井中 ⑤ 第五中
⑥ 六月中 ⑦ 東島根中 ⑧ 第一中 ⑨ 蒲原中 ⑩ 第十二中

令和8年度の設置予定校

11 竹の塚中 **12** 伊興中 **13** 江北桜中 **14** 第七中 **15** 第十中
16 第九中 **17** 花畑北中 **18** 花畑中 **19** 花保中 **20** 栗島中
21 青井中 **22** 第十一中 **23** 第十三中 **24** 谷中中 **25** 東綾瀬中

※ 令和9年度の設置予定校

26 第四中 27 第六中 28 第十四中 29 入谷中 30 入谷南中
31 扇中 32 江南中 33 千寿青葉中 34 千寿桜堤中 35 瀏江中

4 今後のスケジュール

年月	内容
令和7年 9月	教育委員会に新設校を報告
10月	文教委員会に新設校を報告 中学校入学予定者・保護者に新設校を周知
11月	新設校の現地確認 購入する家具等の選定・レイアウト確認
12月	委託契約仕様書確定、新設校の指導員採用手続
令和8年 1月	契約依頼、国・都へ補助金の協議
2月	委託事業者選定
5月	連休明けまでに15校で開設

5 指導員の確保について

定年年齢の段階的な引き上げにより、令和7年度末は定年退職が無い年であるため、小・中学校と連携して退職者の確保に努めるとともに、積極的に公募も行うなど、人材確保に努めていく。

文教委員会報告

令和7年10月10日

件名	「令和7年度第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」報告について
所管部 課名	教育指導部教育指導課
内容	本アンケートについて、令和7年2月からWEBでの回答としたこと及び、今年度から「学校生活及びいじめに関するアンケート」の質問項目を一部変更・改訂したことによる児童・生徒の回答の変化や結果、今後の課題について報告する。 1 変更点 (1) 構成 本アンケートは、従来は冒頭から「いじめ」に関する質問から始まっていたが(P12参照)、学校生活について調査することも目的であるため、児童・生徒がより回答しやすいように、学校生活全般、不安を感じていること、いじめについてと段階的に質問項目を設置した。 (2) WEBでの回答方法 また、従来の紙媒体での回収方式だと、不登校生徒の回答を回収しにくいこと、記入内容を気にして本心を書くことできない児童・生徒がいる可能性があること、個人情報紛失の可能性があること等の理由から、令和7年2月からWEBでの回答方法に変更した。 2 新設・改訂したアンケート質問項目 (P13参照) (1) 新設項目 ア 質問1「学校は楽しいですか」 イ 質問2「今、不安に思っていることはありますか」 ウ 質問3「不安な時や困ったことがあったときは、だれに相談しやすいですか。(複数回答可)」 (2) 改訂項目 質問4「4月から今日までのあいだに、いじめられたことがありますか。」という質問に対して、「はい」を選択した場合、いじめの種別、相談相手、もしくは相談できなかった理由を選択可能にした。 3 アンケート結果全体から見える効果と課題 (P14参照) (1) 効果 ア 回答率の増加 小学校、中学校ともに回答率が増加した。WEBによる回答に変更した結果、不登校生徒を含む未提出生徒を即時に把握することができるようになった。そのように把握した生徒に対して、中学校においては、学級担任を中心に、当該生徒や当該生徒保護者に連絡し、回答をするよう求めることが功を奏し、回答率が1.6ポイント(約240人)増加した。 イ 「学校は楽しい」(新設項目 質問1) 肯定的な回答をした割合が小学校91.9%、中学校88.2%であり、令和6年4月に実施した「令和6年度 足立区学力定着に関する総

合調査」と比較して、小学校 3. 3 ポイント、中学校 1. 6 ポイント増加した。

ウ 「いじめられたことがある」(新設項目 質問 4)

「はい」を選択した児童・生徒の相談先として「先生」が「家族」と同割合であり、教師のきめ細やかな対応により、児童・生徒からの信頼を得られていることが読み取れる。

(2) 課題

ア WEBでの回答

小学校低学年はWEBで回答することが困難で、児童が紙媒体で実施した後、教員がWEBで回答した学校があった。

イ 「今、不安に思っていること」(新設項目 質問 2)

「不安に思っていることがある」と回答した児童・生徒がともに 15 %程度おり、いじめに限らず、学校生活全般、進路決定等においても丁寧に見取っていく必要があることが推察される。

ウ 「いじめられたことがある」(改訂項目 質問 4)

「4月から今日までの間に、いじめられたことがありますか。」という質問に対して、「はい」と回答した児童は2,859人(10.1%)、生徒は202人(1.6%)であり、児童と生徒における「いじめ」をどのように捉えるかということについての感覚に相違があることが考えられる。今後も生活指導担当者連絡会等において、教員に対して「いじめ」の定義を改めて指導・確認していく必要がある。

4 課題に対する今後の対応

課題	今後の対応
ア	小学校に限らず、今後、これまで実施していた紙媒体とWEBとを併用して実施できるように資料を準備する。 不登校によりアンケート実施が難しい児童・生徒については、学級担任を中心として、定期的に家庭訪問を実施した際タブレットを用いて一緒にアンケートに回答する、紙媒体で回答するなどの工夫をするよう周知していく。
イ・ウ	(1) 丁寧な見取り 学級担任のみで対応するのではなく、学年教員、養護教諭、SCやSSW等と連携を強化し、児童・生徒が相談しやすい環境づくりを推進し、全ての児童・生徒が安心して相談できる体制を構築するよう依頼する。 (2) いじめに対する感覚の相違 生活指導担当者連絡会等で東京都いじめ総合対策【第3次】(令和7年6月)におけるいじめの定義を改めて確認し、「いじめが発生することが悪い」のではなく、「いじめは誰にでも起こる」という認識のもと、早期発見・早期解決していくことが肝要であることを指導する。 生徒指導提要(令和4年12月 文部科学省)の教育相談に関する内容を情報共有し、校内での相談体制の構築を推進するよう依頼する。また、校外の相談先も周知し、学校で話しにくいことがあっても、相談できる手段を提示する。

	5 今後の方針 今後の定例校長会、生活指導担当者連絡会等において、本アンケートの結果概要を公表するとともに、改めて児童・生徒が相談しやすい環境づくり等について対応を依頼する。
--	--

学校生活及びいじめに関するアンケート

名前

年 組

それぞれの質問にあてはまるときは「はい」に、あてはまらないときは「いいえ」のところに○を書きましょう。

1 学校生活のアンケート

番号	質問	はい	いいえ
1	いやなことがあったときに、相談できる人はいますか。		
	相談できる人がいる人にききます。 それはだれですか。あてはまるものに○をつけましょう。いくつつけてもいいです。 () 家の人 () 先生 () 友人 () スクールカウンセラー () その他 → ()		

2 いじめのアンケート

番号	質問	はい	いいえ
1	1 2月から今日まで、冷やかしかからかい、悪口やおどし文句、いやなこと言われたことがありますか。		
2	1 2月から今日まで、仲間はずれにされたり、無視されたりしたことがありますか。		
3	1 2月から今日まで、軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりしたことがありますか。		
4	1 2月から今日まで、ひどくぶたれたり、たたかれたり、けられたりしたことがありますか。		
5	1 2月から今日まで、お金を取られたり、かくされたりしたことがありますか。		
6	1 2月から今日まで、ものをとられたり、かくされたり、ぬすまれたり、こわされたり、捨てられたりしたことがありますか。		
7	1 2月から今日まで、いやなことや危険なこと、はずかしいことをされたり、させられたりしたことはありますか。		
8	1 2月から今日まで、パソコンやスマートフォン、携帯電話等でいやなことを書かれたり、されたりしたことはありますか。		
9	1 2月から今日まで、上のことのほかに、いじめられたことはありますか。		
10	1 2月から今日まで、友達がいじめられているところを見たことはありますか。		
11	今、いじめられていますか。		

※「もっとくわしく相談したい」という人は、「足立区いじめ相談ネット受付」に相談してください。

【足立区いじめ相談ネット受付】

<http://www.city.adachi.tokyo.jp/kyoikushido/ijimeconf.html>



学校生活及びいじめに関するアンケート

年 組

名前

それぞれの質問にあてはまるところに○を書きましょう。

質問 1	学校は楽しいですか。	
	はい	
	いいえ	
質問 2	今、不安に思っていることはありますか。	
	はい	
	いいえ	
質問 3	不安なときや困ったことがあったときは、誰に相談しやすいですか。（複数回答可）	
	家族	
	友達	
	先生	
	地域の人	
	その他 →右の回答欄に○を付けて、相談相手を書いてください。（ ）	
質問 4	4月から今日までの間に、いじめられたことがありますか。	
	はい →右の回答欄に○を付けて、質問4-1に進んでください。	
	いいえ →右の回答欄に○を付けて、質問5に進んでください。	
質問 4-1	質問4で「はい」と答えた人に聞きます。どんないじめでしたか。	
	冷やかされたり、からかわれたり、悪口やいやなことを言われたりする。	
	仲間はずれにされたり、無視されたりする。	
	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	
	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	
	お金をたかられたり、おごらされたりする。	
	お金や物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	
	いやなこと、恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	
	メール、ネット、SNSなどで、嫌なことを書かれる。	
	服を脱がされたり、恥ずかしいことをさせられたりする。	
	その他の嫌なことをされる。	
質問 4-2	質問4で「はい」と答えた人に聞きます。いじめられたとき、あなたはどうしましたか。	
	いじめている人に「やめて」と言った。→右の回答欄に○を付けて、質問5に進んでください。	
	先生に相談した。→右の回答欄に○を付けて、質問5に進んでください。	
	家族に相談した。→右の回答欄に○を付けて、質問5に進んでください。	
	友達に相談した。→右の回答欄に○を付けて、質問5に進んでください。	
	いじめ相談メールやいじめ相談ダイヤル等に相談した。→右の回答欄に○を付けて、質問5に進んでください。	
	その他→右の回答欄に○を付けて、したことを書いてください。（ ）	
	→質問5に進んでください。	
	だれにも相談しなかった。→右の回答欄に○を付けて、質問4-3に進んでください。	
質問 4-3	質問4-2で「だれにも相談できなかった」に答えた人に聞きます。相談しなかった理由は何ですか。	
	自分で解決できるから。	
	いじめがひどくなるから。	
	誰に相談したらよいのかわからないから。	
	恥ずかしいから。	
	その他→右の回答欄に○を付けて、理由を書いてください。（ ）	
質問 5	4月から今日までの間に、友達がいじめられているところを見たことはありますか。	
	はい	
	いいえ	

※「もっとくわしく相談したい」という人は、「足立区いじめ相談ネット受付」に相談してください。

【足立区いじめ相談ネット受付】

<http://www.city.adachi.tokyo.jp/kyoikushido/ijimeconf.html>



「令和7年度 第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」について

※ 端数の処理上、合計値が100%にならないことがある

1 アンケート実施期間

令和7年6月1日から令和7年6月30日において各学校が定めた期間

※ 年3回（6月、11月、2月）実施

2 対象 全区立小・中学校 全児童・生徒

調査回答数	小学校	28,332人	
	中学校	12,884人	
	計	41,216人	※ 回収率 98.3%

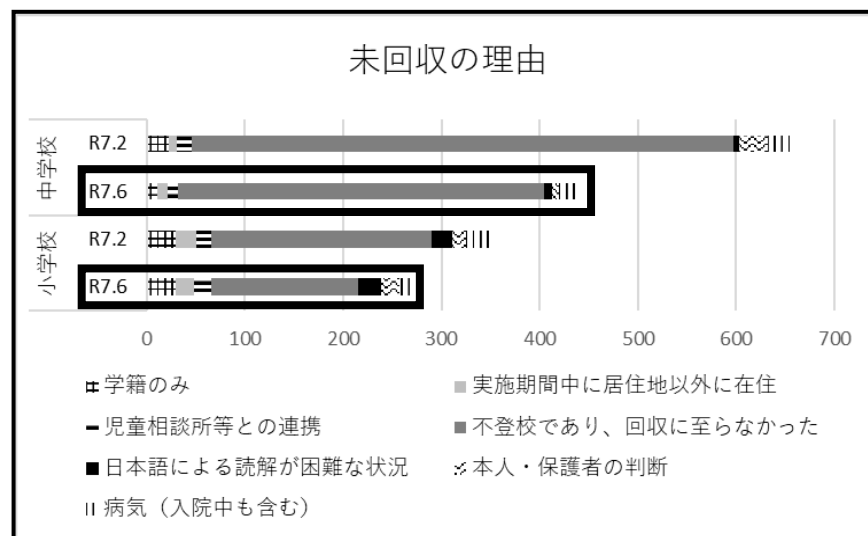
3 アンケート結果概要

※ 本来は令和6年6月と令和7年6月を比較するが、令和7年2月からWEBでの回答方式に変更したため、令和7年2月と令和7年6月とで比較をしている

ア 小学校及び中学校における前回調査（令和7年2月実施）と今回実施（令和7年6月実施）との比較

	小学校			中学校		
	R7.2	R7.6	増減	R7.2	R7.6	増減
在籍数	29,265	28,606	▲659	13,402	13,322	▲80
回答数	28,916	28,332	▲584	12,746	12,884	+138
回答率	98.8%	99.0%	+0.2ポイント	95.1%	96.7%	+1.6ポイント
未回収数	349	274	▲75	656	438	▲218
在籍数における未回収率	1.2%	1.0%	▲0.2ポイント	4.9%	3.3%	▲1.6ポイント

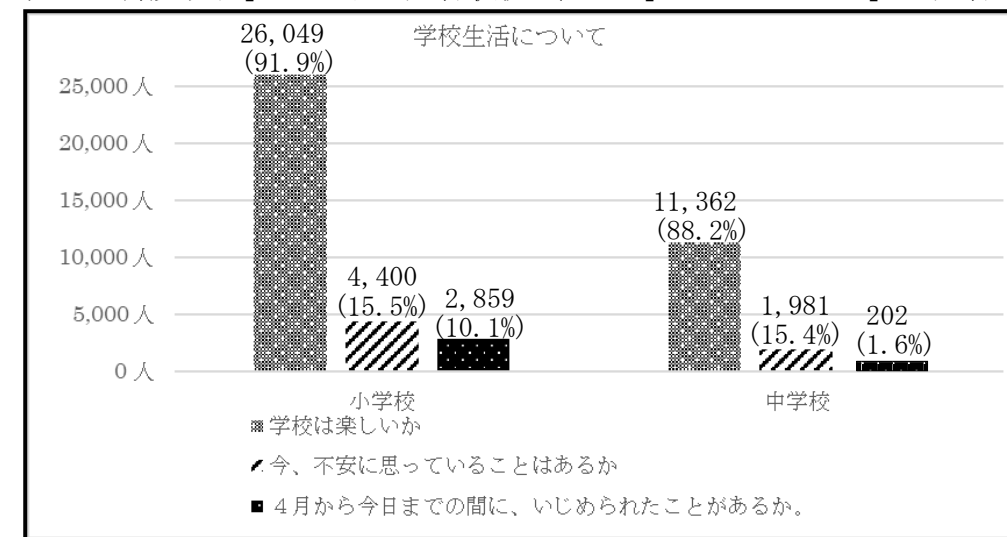
イ 「未回収数」における理由



未回収児童・生徒数は合計で712名おり、その内、「不登校であり、回収に至らなかった」児童が149人（54.4%）、生徒が372人（85.0%）と最も高い割合であった。

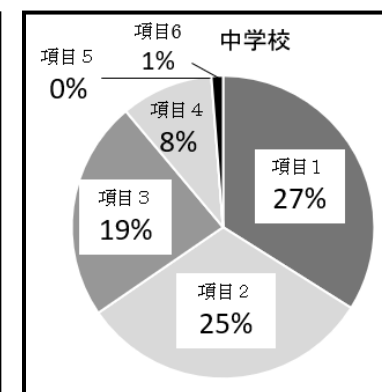
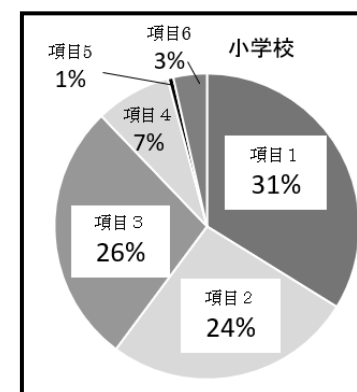
	学籍のみ	居住地以外	児相と連携	不登校	本人・保護者の判断	病気	日本語の読解
R7.2 (中)	22	8	16	551	29	24	6
R7.6 (中)	11	10	11	372	6	19	9
R7.2 (小)	29	21	16	224	14	24	15
R7.6 (小)	29	19	18	149	18	17	24

ウ 「新設項目」における回答状況（「はい」または「ある」と回答した児童・生徒数及び割合）



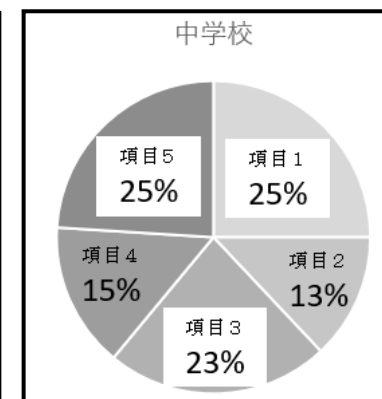
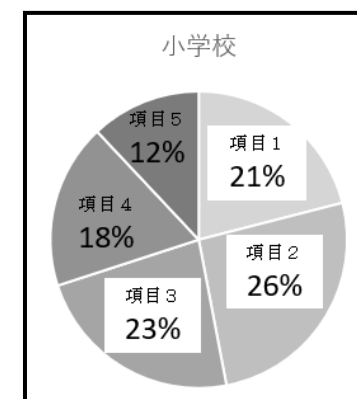
「学校は楽しいか」との質問に対する児童・生徒数の合計は37,411名であり、小中学校合計90.8%の児童・生徒が「学校が楽しい」と肯定的な回答をしている。

エ 上記ウの「4月から今日までの間に、いじめられたことがあるか」について「はい」と回答した児童・生徒の対応方法における割合



項目1 いじめている人に「やめて」と言った。
 項目2 先生に相談した。
 項目3 家族に相談した。
 項目4 友達に相談した。
 項目5 いじめ相談メールやいじめ相談ダイヤル等に相談した。
 項目6 その他

オ 「項目7 だれにも相談しなかった」児童・生徒の回答理由



項目1 自分で解決できるから。
 項目2 いじめがひどくなるから。
 項目3 誰に相談したらよいかわからないから。
 項目4 恥ずかしいから。
 項目5 その他

令和7年度 第1回学校生活及びいじめに関するアンケート調査結果（R7. 6月）

基礎情報	小学校			中学校			合計		
	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6
在籍数	29,132 人	29,265 人	28,606 人	13,391 人	13,402 人	13,322 人	42,523 人	42,667 人	41,928 人
調査回答数	28,897 人	28,916 人	28,332 人	13,103 人	12,746 人	12,884 人	42,000 人	41,662 人	41,216 人
回答率	99.2%	98.8%	99.0%	97.8%	95.1%	96.7%	98.8%	97.6%	98.3%
未回収数	235 人	349 人	274 人	288 人	656 人	438 人	523 人	1,005 人	712 人
前回未回収数	342 人	277 人	349 人	404 人	715 人	656 人	746 人	992 人	1,005 人

結果 （回答件数）

調査項目	小学校			中学校			合計		
	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6
1 学校は楽しいか									
2 不安に思っていることはあるか									
3 相談できる人がいる	99.3%	98.4%	91.9%	98.1%	97.1%	88.2%	99.0%	98.0%	90.8%
※複数回答									
内訳									
家の人	91.8%	88.6%	86.9%	82.9%	80.9%	78.0%	89.0%	86.3%	84.1%
先生	65.0%	62.5%	61.3%	54.2%	49.9%	47.7%	61.7%	58.7%	57.0%
友人	58.7%	61.5%	58.9%	78.4%	76.3%	78.5%	64.8%	66.0%	65.0%
地域の人の人			4.3%			5.0%			4.5%
S C	13.8%	15.3%	11.8%	20.4%	17.5%	16.7%	15.9%	16.0%	13.3%
その他	3.9%	2.4%	1.9%	1.7%	0.9%	1.4%	3.2%	1.9%	1.7%
学童の先生・児童館の職員・学童の人・習い事の先生・いとこ・祖父母・子ども支援センター職員・塾の先生・電話相談・先輩・親戚・友人の母・児童相談所・近所の人・スクールアシスタント・訪問看護・母子生活支援施設職員・警察・フリースクールの先生・病院のカウンセラー・主事・幼馴染・信用できる人・幼稚園の先生・相談ネット・見守りの人・児童精神科の先生・療育の先生・ペット・ぬいぐるみ・人形・チャットGPT・推し・SSW・警察									
※ 4 4月から今日までの間に、いじめられたことがあるか。									
5 冷やかしの、からかい、悪口を言われた	3,069 人	2,932 人	2,859 人	238 人	246 人	202 人	3,307 人	3,178 人	3,061 人
6 仲間はずれ、無視	1,206 人	1,267 人	1,235 人	56 人	77 人	115 人	1,262 人	1,344 人	1,350 人
7 軽くぶつかる、叩かれる、蹴られる	871 人	969 人	1,235 人	97 人	92 人	115 人	968 人	1,061 人	1,350 人
8 ひどく叩かれる、蹴られる	572 人	543 人	454 人	32 人	17 人	22 人	604 人	560 人	476 人
9 お金を取られる、隠される	21 人	21 人	454 人	4 人	1 人	22 人	25 人	22 人	476 人
胸ぐらをつかまれた・他クラスの児童に背中を3回くらい「どん」と押された・ぶつかられて蹴られた・顔を殴られた・友達に水をかけられた。図書館で置いてけぼりにされた。自分の仕事を取られた。相手がやるべきことを押し付けられた。友達に自分の筆箱に落書きをされた。トラブルになった際に、叩かれる。同じクラスの男児が廊下ですれ違いざまに勢よく肩をぶつけてきたり、列に並んでいなかったときにふいに腕を握ってひっぱってきたりする。怒った男児に背中をグーで複数回叩かれたり、足首を複数回蹴られたりした。放課後遊んでいるときに上学年に何度も腕を叩かれた。・学童で首をしめられた。・特定人物から腕を引っ張られる、ぶつかる・悪口を言われたことがある。1年男児：学校や学童などで強く叩かれたり、けられたりする。・注意したら、強く叩かれた。・強い言葉で注意を受けたり、けられたりする。・注意をしたら、鉛筆で刺された。・運動会練習中に、立ち位置を違うことを指摘したら、ぶたれた。・本人は悪口を言っていないのに、勘違いされ、腹にパンチをされた。・部活中にベルトを取られたり、叩かれる、筆箱をとられるなどの嫌がらせ。・休み時間に口げんかになり、顔をビンタされた。・放課後に学校近くのスポーツセンター近くで、同学年男子生徒から左手を蹴られ、骨折していた。手術をして、現在は経過観察中。									
10 友達と遊んだ帰りに自動販売機でジュースを買ってと言われて買った。・本人がよく覚えていない。言いたくない。・友達に1円頂戴と言われてあげてしまった。・3月の終わりに、放課後、恐竜公園で同じ学年の男子6人にジュースをおごらされた。6月の始めにはお菓子のゴミを自電車のカゴに入れられた。・「文房具を買ってほしい。」と言われ、買ってあげてそのまま相手が持ち帰った。									

調査項目			小学校			中学校			合計					
			R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6			
10	お金や物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。		594 人	606 人	121 人	45 人	43 人	8 人	639 人	649 人	129 人			
			2.1%	2.1%	4.2%	0.3%	0.3%	4.0%	1.5%	1.6%	4.2%			
11	いやなこと、恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。		435 人	512 人	151 人	33 人	30 人	14 人	468 人	542 人	165 人			
			1.5%	1.8%	5.3%	0.3%	0.2%	6.9%	1.1%	1.3%	5.4%			
12	メール、ネット、SNSなどで、嫌なことを書かれる。		93 人	139 人	33 人	39 人	28 人	10 人	132 人	167 人	43 人			
			0.3%	0.5%	1.2%	0.3%	0.2%	5.0%	0.3%	0.4%	1.4%			
13	服を脱がされたり、恥ずかしいことをさせられたりする。		203 人	277 人	41 人	9 人	12 人	2 人	212 人	289 人	43 人			
			0.7%	1.0%	1.4%	0.1%未満	0.1%未満	1.0%	0.5%	0.7%	1.4%			
14	質問 4 で「はい」と答えた人に聞きます。いじめられたとき、あなたは どうしましたか。 ※複数回答可	いじめている人に「やめて」と言った。							895 人			950 人		
									31.3%				55 人	31.0%
		先生に相談した。							698 人			51 人	749 人	
									24.4%				25.2%	24.5%
		家族に相談した。							732 人			38 人	770 人	
									25.6%				18.8%	25.2%
		友達に相談した。							212 人			16 人	228 人	
									7.4%				7.9%	7.4%
いじめ相談メールやいじめ相談ダイヤル等に相談した。	16 人	0 人	16 人											
	0.6%		0.0%	0.5%										
その他	94 人	2 人	96 人											
		3.3%		1.0%		3.1%								
先生が近くにいなかったから相談できなかった・言い返したくなくて泣いた・帰り道にすぐに謝罪があった・がまんしていた・しばらくしてから、げんきの先生に伝えた・スクールカウンセラーに相談・やりかえた。・無視して相手にしなかった・無視されたけど呼び続けた。・アンケートに書こうと思って言わなかった。・しばらく関わらないようにする。ひどい時はやり返す。・やりかえた。・選択肢の全て行った。・家族・友達に相談した。・選択肢の全て行った。・どうすればいいかわからない。														
15	だれにも相談しなかった。							40 人			252 人			
16	「だれにも相談できなかった」に答えた人に聞きます。相談しなかった理由は何です							45 人			10 人	55 人		
								21.2%			25.0%	21.8%		
								56 人			5 人	61 人		
								26.4%			12.5%	24.2%		
16	いじめがひどくなるから。	49 人	9 人	58 人										
		23.1%	22.5%	23.0%										
		37 人	6 人	43 人										
	17.5%	15.0%	17.1%											
17	友達がいじめられているのを見た	1,720 人	1,734 人	2,004 人	122 人	77 人	138 人	1,842 人	1,811 人	2,142 人				
		6.0%	6.0%	7.1%	0.9%	0.6%	1.1%	4.4%	4.3%	5.2%				

※ 令和 7 年度のアンケート調査から調査項目 4 を追加した。そのため、調査項目 5 から 16 までは、調査項目 4 を母数としているため、令和 6 年度と単純比較をすることができない。

未回収数の内訳

	小学校			中学校			合計		
	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6
全員回収	9	7	8	1	1	2	10	8	10
1 名	11	7	7	5	1	2	16	8	9
2 名	10	11	13	3	2	4	13	13	17
5 名以内	23	20	21	7	5	6	30	25	27
1 0 名以内	11	14	13	10	8	2	21	22	15
1 1 名以上	3	8	5	9	18	19	12	26	24
合計	67	67	67	35	35	35	102	102	102

未回収となった主な理由

	小学校			中学校			合計		
	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6	R6.6	R7.2	R7.6
学籍のみ	25	29	29	14	22	11	39	51	40
実施期間中に居住地以外に在住	20	21	19	4	8	10	24	29	29
児童相談所等との連携	15	16	18	12	16	11	27	32	29
不登校であり、回収に至らなかった	146	224	149	230	551	372	376	775	521
本人・保護者の判断	11	14	18	14	29	6	25	43	24
病気（入院中も含む）	8	24	17	9	24	19	17	48	36
日本語による読解が困難な状況	10	21	24	5	6	9	15	27	33
合計	235	349	274	288	656	438	523	1005	712

文教委員会報告資料

令和7年10月10日

件名	就学相談における発達検査の外部委託について																								
所管部課名	こども支援センターげんき支援管理課																								
内容	こども支援センターげんきで実施している就学相談において、「申込数増加」「就学相談員（以下「相談員」という。）の欠員」により相談業務の遅滞が想定される。 今般、遅滞を防ぐため、相談業務の一部である「発達検査」の外部委託を検討したので報告する。 1 就学相談について 就学相談は、子どもの「障がい」「発達」に悩みがある保護者を対象として、特別支援学校・特別支援学級・特別支援教室などの就学・通級先について判定する相談支援であり、以下の流れ（図1）で実施される。 (1) こども支援センターげんきに申込み (2) 心理士等の相談員（区会計年度任用職員）が同施設内で相談開始 ア 面接：保護者の不安や要望を聴取（場合により複数回実施） イ 行動観察：子どもの行動を把握（保育園・学校等に出向き実施） ウ 発達検査：知能・言語・運動など子どもの発達具合を確認 (3) 医師の問診 (4) 学校長・学識経験者・医師など約8人で構成する就学支援委員会にて、(2)（3）を基に、就学・通級先を判定 (5) 保護者は、判定を参考に就学・通級先を決定し、就学届を提出 【図1 就学相談の流れ】 (1) こども支援センター げんきに申込み (2) 相談業務 面接（複数回） 行動観察 発達検査 (3) 医師問診 (4) 就学支援委員会 (5) 特別支援学校（都立） 特別支援学級 特別支援教室等（※） 普通学級 2 就学相談の実施状況と課題 (1) 相談員数と申込数 <table><tr><th></th><th>相談員数 （年度）</th><th>申込数 （年度）</th><th>申込数 （6月末）</th><th>発達検査数 （年度）</th><th>発達検査数 （年度1人当たり）</th></tr><tr><td>R5</td><td>11人</td><td>1,198件</td><td>410件</td><td>573件</td><td>52件</td></tr><tr><td>R6</td><td>12人</td><td>1,290件</td><td>464件</td><td>574件</td><td>48件</td></tr><tr><td>R7</td><td>10人（2欠）</td><td>約1,370件</td><td>491件</td><td>約610件</td><td>61件</td></tr></table> ※R7の申込数、検査数は6月末の申込数を基に推計		相談員数 （年度）	申込数 （年度）	申込数 （6月末）	発達検査数 （年度）	発達検査数 （年度1人当たり）	R5	11人	1,198件	410件	573件	52件	R6	12人	1,290件	464件	574件	48件	R7	10人（2欠）	約1,370件	491件	約610件	61件
		相談員数 （年度）	申込数 （年度）	申込数 （6月末）	発達検査数 （年度）	発達検査数 （年度1人当たり）																			
	R5	11人	1,198件	410件	573件	52件																			
R6	12人	1,290件	464件	574件	48件																				
R7	10人（2欠）	約1,370件	491件	約610件	61件																				

(2) 現状の課題

ア 発達検査（図1の網掛け部分）は、パズル、積み木、単語理解などの検査を行い、1件あたり2時間程度要する。その上、相談件数が多いため、面接では保護者の不安に寄り添った丁寧な聴き取りよりも、必要事項の聴取を優先せざるを得ない状況である

イ 専門性が高く、心理士以外では代替ができないが、採用も困難な状況にある（※）

※ 検査用具の販売元が「心理アセスメントに関する知識と経験を備えた専門家のみ使用可」と定めている。

ウ 上記ア・イの前提に加え、「申込数増加」及び「相談員2人欠員」により、相談完了までに時間がかかり、12月中旬までに行うべき特別支援学級入級手続や東京都への報告が間に合わない可能性がある

3 外部委託に向けた考え方

(1) 外部委託した場合の相談業務

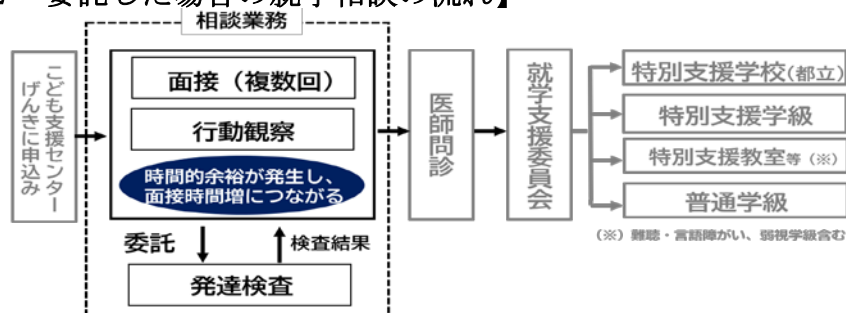
ア 発達検査のみを心理士の対応が可能な心理検査専門業者に外部委託する（図2）

イ 面接や行動観察は引き続き相談員が行う

ウ 検査結果は相談員が確認・管理する

エ 常勤心理士が受託事業者との窓口となり、検査進捗を管理する

【図2 委託した場合の就学相談の流れ】



(2) 外部委託した場合の効果

ア 約300時間（2時間×150件）を確保し、増分件数への対応のほか、対象児童及び保護者の面接や行動観察に時間を割けるようになり、より円滑かつ丁寧な支援が可能となる。

イ 相談にかかる時間等が縮減し、増分件数を遅滞なく処理することで東京都への報告遅延を防ぐ。

4 費用等

(1) 費用として、9月補正予算に約5,500千円（32千円/件）を計上

(2) 11月から導入予定

(3) 件数は150件を想定（11～3月）

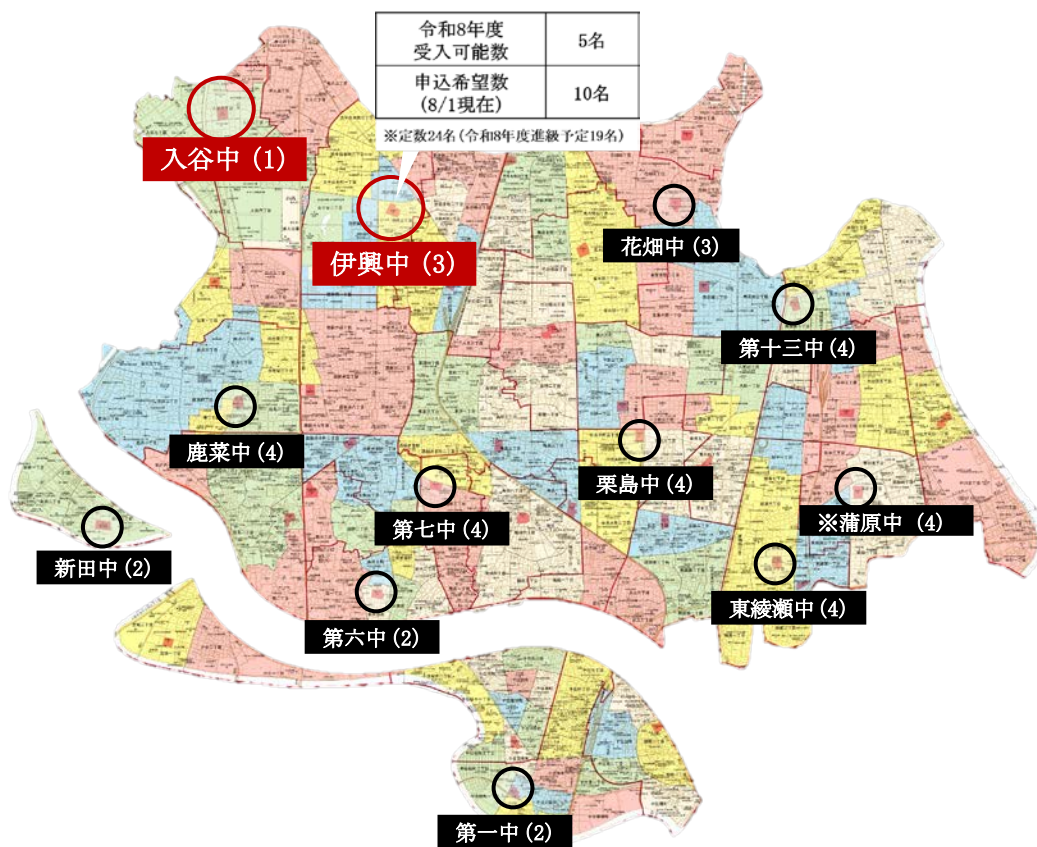
※ 参考聴取した事業者は、中野区・港区・新宿区の発達検査を受託

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和 7 年 1 0 月 1 0 日

件 名	【追加】入谷中学校への特別支援学級（知的固定）新設検討について																																																																	
所管部課名	こども支援センターげんき支援管理課																																																																	
内 容	令和 8 年 4 月に新設を進めている特別支援学級について、令和 7 年 7 月の文教委員会で報告したが、新たに入谷中学校で新設を検討しているので報告する。																																																																	
	1 新設検討の理由について																																																																	
	(1) 伊興中学校における増学級が不可能 伊興中学校で増学級を検討したが、空き教室がなく、学校内の空きスペースを活用しても不可能との判断に至った。																																																																	
	(2) 申し込み状況（令和 7 年 8 月 1 日現在） 今年度の就学相談申込者のうち、令和 7 年 8 月時点で伊興中学校の希望数が受け入れ可能枠を超過、 <u>抽選の可能性が非常に高い</u> 。																																																																	
	<table><tr><th>学校名</th><th>学級数</th><th>受入可能数</th><th>希望数</th><th>備考</th></tr><tr><td>第一</td><td>2</td><td>8</td><td>6</td><td>増学級可</td></tr><tr><td>第六</td><td>2</td><td>3</td><td>10</td><td>増学級可</td></tr><tr><td>第七</td><td>4</td><td>12</td><td>3</td><td></td></tr><tr><td>第十三</td><td>4</td><td>15</td><td>12</td><td></td></tr><tr><td>伊興</td><td>3</td><td>5</td><td>10</td><td>増学級不可、抽選</td></tr><tr><td>栗島</td><td>4</td><td>12</td><td>5</td><td></td></tr><tr><td>鹿浜菜の花</td><td>4</td><td>12</td><td>6</td><td></td></tr><tr><td>新田</td><td>2</td><td>9</td><td>3</td><td></td></tr><tr><td>花畑</td><td>3</td><td>16</td><td>6</td><td></td></tr><tr><td>東綾瀬</td><td>4</td><td>16</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>未定・不明</td><td>—</td><td>—</td><td>9</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>32</td><td>108</td><td>74</td><td></td></tr></table>	学校名	学級数	受入可能数	希望数	備考	第一	2	8	6	増学級可	第六	2	3	10	増学級可	第七	4	12	3		第十三	4	15	12		伊興	3	5	10	増学級不可、抽選	栗島	4	12	5		鹿浜菜の花	4	12	6		新田	2	9	3		花畑	3	16	6		東綾瀬	4	16	4		未定・不明	—	—	9		合計	32	108	74	
	学校名	学級数	受入可能数	希望数	備考																																																													
	第一	2	8	6	増学級可																																																													
	第六	2	3	10	増学級可																																																													
	第七	4	12	3																																																														
	第十三	4	15	12																																																														
伊興	3	5	10	増学級不可、抽選																																																														
栗島	4	12	5																																																															
鹿浜菜の花	4	12	6																																																															
新田	2	9	3																																																															
花畑	3	16	6																																																															
東綾瀬	4	16	4																																																															
未定・不明	—	—	9																																																															
合計	32	108	74																																																															
2 新設検討校について																																																																		
(1) <u>入谷中学校に 1 学級</u> の新設を検討																																																																		
(2) 選定理由 ア 区北西部（入谷、舎人、古千谷）居住者の多くが伊興中を希望 イ 第十四中、入谷南中も協議したが、空き教室がなく新設不可 ウ 入谷中学校に、 <u>空調設備及び Wi-Fi 設置済みの空き教室が複数あり工事不要</u> 。入級者が増えた場合の <u>増学級も対応可能</u>																																																																		
3 都との調整																																																																		
東京都特別支援教育課（学級編成等の担当部署）に現状について共有している。																																																																		

【入谷中と伊興中の位置関係】（ ）内は学級数



※蒲原中は令和8年4月新設予定

文教委員会報告資料

令和7年10月10日

件名	【追加】小中学校の校庭における金属探知機を用いた安全点検実施について
所管部課名	学校運営部学校施設管理課
内容	学校校庭の安全点検について、現在、文部科学省が指示する手順に従い、学校職員による目視点検等を徹底しているが、令和7年6月の区内小学校における児童負傷事故を受け、さらなる安全確保を目指し、専門業者による金属探知機を用いた校庭安全点検を実施する。 1 安全点検の取組内容 (1) 目的 すでに令和5年度に、学校用務業務事業者による金属探知機を用いた安全点検について実施済みであるが、土の校庭に埋没した危険な釘などの金属物等は、完全に除去することは困難なため、2年に1度を目安に、専門業者による点検を実施する。 (2) 作業概要 ア 金属探知機を用いて、区内小中学校の土の校庭について、金属物等の埋没がないか、調査を行う。 イ 金属探知機が探知した場合は、転圧層表層付近に埋没している金属物等まで除去する。 ウ 深部に埋没している金属物等は、無理に掘り起こすことでかえって校庭の凹凸を生じさせ、危険を増大させる恐れがあるため、埋没位置を記録した上で残置する。 (3) 対象校数（予定） 58校（小学校25校、中学校33校） (4) 委託期間（予定） 契約締結日から令和8年3月末まで 2 今後の取組予定 土の校庭に埋没した金属物等の完全除去は困難であり、抜本的な対策としては校庭の人工芝化が有効と考えている。まずは校庭が土の小学校25校の早期の人工芝化と、適切な維持管理による再発防止を期していく。

文教委員会報告資料

令和7年10月10日

件名	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて～次世代へつなぐ適正規模・適正配置のガイドライン～の策定について																
所管部課名	学校運営部学校適正配置担当課																
内容	年少人口の減少や施設の老朽化の現状を踏まえ、学校を適正な規模に整備していくため、令和7年度から8年間の方針として、「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置ガイドライン」を策定する。 1 ガイドライン策定までの経過 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年 4月</td><td> ガイドライン素案の作成 関係者への素案説明（4月～7月） 【地域関係】 ① 足立区町会・自治会連合会会長、副会長 ② 対象地区（花畑・竹の塚・中川）の地区町会・自治会連合会会長、全体会長会等 【学校関係】 ① 対象地区の学校長 <table border="1"> <tr> <td>花畑地区</td><td>花畑北中、花畑中 花畑西小、桜花小、花畑第一小</td></tr> <tr> <td>竹の塚地区</td><td>竹の塚中、湊江中</td></tr> <tr> <td>中川地区</td><td>長門小、大谷田小</td></tr> </table> ② 上記学校の開かれた学校づくり協議会会長、開かれた学校づくり協議会 </td></tr> <tr> <td>6月</td><td>パブリックコメント実施</td></tr> <tr> <td>8月</td><td>パブリックコメントの結果報告</td></tr> <tr> <td>10月</td><td>ガイドラインの策定</td></tr> </tbody> </table> 2 ガイドライン等 (1) ガイドライン（別添資料1） (2) 資料編（別添資料2） (3) 変更点対照表（別添資料3） 3 今後の方針 (1) 対象地区ごとに、学校規模の適正化に向けた具体的な取組やスケジュール等をまとめた計画素案を作成する。 (2) 素案が完成次第、速やかに議会報告した後、対象地区の地域・学校関係者のご意見を丁寧に向いながら、成案化を目指していく。	時期	内容	令和7年 4月	ガイドライン素案の作成 関係者への素案説明（4月～7月） 【地域関係】 ① 足立区町会・自治会連合会会長、副会長 ② 対象地区（花畑・竹の塚・中川）の地区町会・自治会連合会会長、全体会長会等 【学校関係】 ① 対象地区の学校長 <table border="1"> <tr> <td>花畑地区</td><td>花畑北中、花畑中 花畑西小、桜花小、花畑第一小</td></tr> <tr> <td>竹の塚地区</td><td>竹の塚中、湊江中</td></tr> <tr> <td>中川地区</td><td>長門小、大谷田小</td></tr> </table> ② 上記学校の開かれた学校づくり協議会会長、開かれた学校づくり協議会	花畑地区	花畑北中、花畑中 花畑西小、桜花小、花畑第一小	竹の塚地区	竹の塚中、湊江中	中川地区	長門小、大谷田小	6月	パブリックコメント実施	8月	パブリックコメントの結果報告	10月	ガイドラインの策定
時期	内容																
令和7年 4月	ガイドライン素案の作成 関係者への素案説明（4月～7月） 【地域関係】 ① 足立区町会・自治会連合会会長、副会長 ② 対象地区（花畑・竹の塚・中川）の地区町会・自治会連合会会長、全体会長会等 【学校関係】 ① 対象地区の学校長 <table border="1"> <tr> <td>花畑地区</td><td>花畑北中、花畑中 花畑西小、桜花小、花畑第一小</td></tr> <tr> <td>竹の塚地区</td><td>竹の塚中、湊江中</td></tr> <tr> <td>中川地区</td><td>長門小、大谷田小</td></tr> </table> ② 上記学校の開かれた学校づくり協議会会長、開かれた学校づくり協議会	花畑地区	花畑北中、花畑中 花畑西小、桜花小、花畑第一小	竹の塚地区	竹の塚中、湊江中	中川地区	長門小、大谷田小										
花畑地区	花畑北中、花畑中 花畑西小、桜花小、花畑第一小																
竹の塚地区	竹の塚中、湊江中																
中川地区	長門小、大谷田小																
6月	パブリックコメント実施																
8月	パブリックコメントの結果報告																
10月	ガイドラインの策定																